

第3回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会 議事録（要旨）

日 時： 令和6年5月9日(木) 午後7時～午後8時40分
場 所： 吉川町公民館 研修室
出席者： 岩崎 正勝 令和5年度吉川地区区長協議会長
西原 章 吉川地区区長協議会
福本 和也 吉川地区区長協議会
北角 昌敬 吉川地区区長協議会
森下 顕 吉川町まちづくり協議会
谷郷 祐次 吉川町まちづくり協議会
白木 拓真 吉川町まちづくり協議会
山田 知美 よかわ認定こども園・いずみ認定こども園
黒田 えりか よかわ認定こども園・いずみ認定こども園
青島 静香 よかわ認定こども園・いずみ認定こども園
中上 智貴 よかわ認定こども園・いずみ認定こども園
阪本 俊治 吉川小学校 PTA
山田 一貴 吉川小学校 PTA
福田 亮 吉川中学校 PTA
藤本 理恵 吉川中学校 PTA
杉原 千二三 吉川小・中学校学校運営協議会
富田 佳泰 吉川小学校 校長
河原 正則 吉川中学校 校長
(事務局)
森田真規教育総務部長、鍋島健一教育振興部長
武内克朗小中一貫教育推進室長
本岡伸朗小中一貫教育推進室主査
河賀健太郎小中一貫教育推進室主査

傍聴人の数：5名

<岩崎委員の会長継続に係る確認>

(会長)

定刻となったので、ただいまから第3回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会を開会する。委員の皆様におかれては、大変ご多用の中ご出席いただき感謝申し上げます。私自身は3月で区長協議会長を退いたが、この地域協議会は引き続き会長をさせていただきたいので、よろしく願います。

今回で第3回となるが、今回は先進地である亀岡市からお越しいただいた川

勝先生のご講演と、前回のブレインストーミングで出た意見のまとめを事務局から説明していただく予定である。

また、この4月から加古川市の両荘地域や加東市の社地域で小中一貫校の開校に向けた話を聞いているが、三木市のモデル校となるこの吉川の小中一貫校も、しっかり計画を立てて設置できるよう協議を進めていきたい。その中で、例えば建物ができる前から小中一貫教育（ソフト面）を先行して進めていく事ができればと思うが、小野市がそういう取組をしていると聞いたので、事務局には一度調査をお願いしたい。

まず資料確認をする。本日の次第、委員名簿、資料1、資料2-1、資料2-2の5点である。

それでは新年度になり委員の交代があったので、新たな委員の委嘱等について事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

（会長）

講演に移る。

本日の協議会開催にあたり、大変お忙しい中、亀岡市教育委員会川勝哲也指導主事にお越しいただいた。感謝申し上げます。

先生は施設一体型小中一貫校である亀岡市立亀岡川東学園の設置に向け、小・中学校の統合をはじめ、基本構想案の作成、それに関連する地域協議、また建設工事期間中も設置に向けた業務に携わられ、開校後は初代校長として学校運営に尽力された豊富なご経験をお持ちである。そして現在は、亀岡市教育委員会学校教育課の指導主事として亀岡市全体の学校教育の推進にご尽力されながら、保護司、亀岡市人権条例制度審議会委員、亀岡市人権教育指導啓発指導員としてもご活躍されていらっしゃる。

本日は委員の皆様「子どもたちの笑顔あふれる学校づくりを目指して」と題してご講演をいただく。学校設置に向けた思いや、大切にされてきたことなどの貴重なご経験をお聞きし、改めて三木市内初となる小中一貫校のあり方を検討するきっかけとしたい。短い時間だが、川勝先生どうぞよろしく願います。

<川勝指導主事の講演>

（会長）

次に、第2回地域協議会における意見の集約について、事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

(会長)

ただいまの事務局説明について、何かご質問ご意見があればお願いします。

(委員)

学校用地 8 案のうち、5 番、6 番、7 番の福井、毘沙門、上松が出た経緯と、それぞれの場所のイメージを教えてください。

(事務局)

この 5 番、6 番、7 番の福井、毘沙門、上松については、前回の協議会で委員から出たご意見だが、場所については私有地の関係上、具体的にここというのをお示しするのが難しいため、その地区で学校用地の面積が確保できる山林のどこかというイメージでご理解いただきたい。

(会長)

この用地の選定基準の中で、「教育の環境」というのが選定基準にならないかなと思ったりもする。回答は要らないが検討してほしい。その他、用地の選定基準について、じっくり考えていただいた上でご意見をいただくことは重要だなとは思っているので、もしご意見あれば先進地視察の時や後日にでも出して頂ければと思う。

それでは先進地視察について、事務局から説明をお願いします。

< 事務局説明 >

(会長)

会議のまとめであるが、本日は川勝先生のお話を聞いて、特色を出すということが大変重要なことだと思った。自分の住んでいる地域の素晴らしさを伝えるふるさと教育や、課題解決する場づくりなど、大変参考になるお話をいただき、感謝申し上げます。

私の子どもも学生時代にディベート教育を受けたことが、後々大学の試験や就職時に大きな力になったと聞いているが、小中一貫教育の中で子どもが自分の将来像を語る力、コミュニケーション能力や情報発信する力をつけるのも大事かと感じた。

それから分離型、併設型の小中一貫校として小野市の事例を出したが、川勝先生のお話を聞いて、施設一体型だからこそできることがあり、それが大きなメリットだと思った。

それでは事務局から事務連絡をお願いします。

(事務局)

冒頭に会長様から、小野市の事例も含めて、施設の完成までに小中一貫教育を

しっかりと進めていくというお話があった。

第1回の協議会で説明したが、三木市では令和3年度から、学校間が離れていても小学校、中学校における小中一貫教育を実施している。特に吉川小学校と吉川中学校においては、一小一中の教育環境のメリットを最大限活かしながら、市内に先駆けて実践推進校として具体的な実践を積み重ね、市内の学校に取組を発信している。具体的には学習課程の作成や、教職員の乗り入れ授業のあり方の研究、児童生徒が日常的に触れ合う機会の創出等、様々な取組を重ねている。

今後もこの取組を確実に積み上げていきたいと考えているので、皆様からも引き続きご意見をいただきながら、小中一貫校設置に向けて、ソフト面もしっかりと準備を整えていく。今後ともどうぞよろしくお願いしたい。

(事務局)

今後の予定は、5月31日に能勢ささゆり学園、6月7日に東条学園への視察を予定している。両日については追って案内させていただく。また、両校の視察にあたり事前質問を募集するので、配布資料の2次元バーコードを読み込んで入力してほしい。

2校の視察後、6月下旬から7月上旬頃に次回の協議会の開催ができればと考えている。こちらも詳細決まり次第改めてお知らせする。

(会長)

それでは閉会に移る。閉会にあたり森下副会長から挨拶をお願いする。

(副会長)

本日は川勝先生にご講演いただき、感謝申し上げます。

今まで見えていなかった新たな視点を提供いただいた思いで、非常に有意義な時間であった。

また事務局で今後に向けての状況整理をしていただいた。今後、施設一体型小中一貫校の設置へと進んでいくが、できる限り皆様のご意見を集約して進んでいくと思う。事務局はその都度集約等大変だと思うが、吉川で教育を受けさせたいと思えるような学校、そして本日の講演の題材でもあった「子どもたちの笑顔あふれる学校」をつくり上げていきたいと思う。

以上で、第3回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会を閉会する。